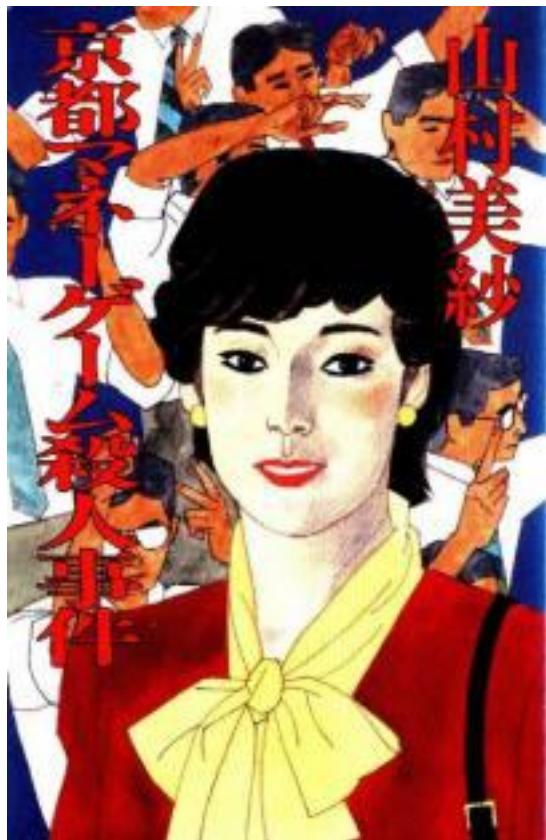


# 京都マネーゲーム殺人事件



[京都マネーゲーム殺人事件 下载链接1](#)

著者:山村 美紗

出版者:文藝春秋

出版时间:1987-11

装帧:新書

isbn:9784163100609

鮎子、加代子、秋子は学生時代から仲のいい京都のOL三人組。NTT株で儲けたのをきっかけに株を始め、それぞれの担当営業マン、北川、南田、西山と相談しながら、株の上下に一喜一憂していた。ところが、鮎子たちが証券会社との連絡役を頼んでいた夕子が何者かに殺され、さらに株が暴落した翌日、西山が秋子に遺書を残して死んだ…。推理しながら“株”がわかるエコノミック・ミステリー。

## 作者紹介:

山村 美紗（やまむら みさ、1931年8月25日 -

1996年9月5日）は、日本の推理作家。父・木村常信は京都大学名誉教授で、1926年京都帝国大学大学院法学研究科に進学後、朝鮮総督府京城法学専門学校長に任じられ終戦まで朝鮮に在住したため、山村も日本統治下の朝鮮・京城（現在のソウル）で生まれ育ち、帰国後、京都府立大学女子短期大学部国語科を卒業した。その後、しばらく国語教師をしていた。弟は政治学者の木村汎、長女は女優の山村紅葉、次女は山村真冬。夫は京都・東山高校の元数学教師で、退職後、70歳を過ぎてから画家となった山村巍（作品は亡妻の肖像画が主）。山村美紗は4人姉弟の長女であり、他に妹が2人いる。

元国語教師。国内に於けるミステリーの女王と言われた。日本のアガサ・クリスティとも讃えられた。

1953年、京都府立大学女子短期大学部国語科卒業。1970年に「京城の死」で江戸川乱歩賞候補、翌年「死体はクーラーが好き」が小説サンデー毎日新人賞候補となり、その後作家メジャーデビュー。

京都を舞台とした作品が多く、著作は多数。その作品の多くはテレビドラマ化されている。華道（池坊準華監）や茶道の師範免状、日本舞踊の名取（花柳流）を持ち、作品の舞台としても多く登場する。尚、山村は作家になる前の自らの人生を「株に精通したマネーゲームの天才」と称していたが、実際には短大を卒業後、京都市立伏見中学の教壇に立ち、その後はフリーのライターとして脚本（「特別機動捜査隊」）を手がけたり、月刊誌「推理界」（1970年廃刊）に小説「目撃者御一報下さい」を発表（1967年）などしたりして、細々と生計を立てていた。また、彼女の場合特に生年月日や学歴等、乙女心から来る“たわいない詐称”が多いことでも夙に有名である。

深い付き合いで知られた推理作家西村京太郎との出会いは、まだ売れていない頃の西村に山村がファンレターを送ったことが縁となった。西村にとって、それがはじめてもらったファンレターだったという。山村が手紙に「夏休みは旅行に行きました」と書いたところ、西村が女子大生だと勘違いし、山村の住む京都まで自ら会いに出向いた事が発端で二人の交友が始まった。西村は当初、山村を独身と信じていたため彼女にプロポーズしたが、見事に断られたと晩年告白している。それで初めて山村に（夫と）娘がいることが分かり、交流は（山村の夫を除いた）家族ぐるみにまで発展する。のちに山村は西村と共同で嘗て旅館であった建物を購入し、山村一家は本館に西村は別館に住んでいた。本館と別館は鍵付きの渡り廊下で繋がっており、山村宅側からは西村宅へ自由に行き来できたが、西村宅からは山村宅には自由に入りできない構造になっていたという。山村の急逝後、西村が彼女の未完の遺作「在原業平殺人事件」と「龍野武者行列殺人事件」の2作品を仕上げている。これは、生前、西村と山村との間でどちらかが先に死んだ場合、未完であった作品を完成させるという約束があった。また、長女で女優の山村紅葉は美紗の作品に加えて西村原作のドラマにも必ず出演している。

1996年9月5日、心不全のため急逝。65歳没。滞在中の東京都千代田区の帝国ホテルにて、執筆中の小説が広げられた机に突っ伏して、亡くなっていたという。まさに、ミステリーの女王らしい最期だった。

弟の木村汎は山村の没後、北海道新聞1996年10月25日付けのコラム「弟から見た素顔の山村美紗」を発表した（日本エッセイスト・クラブ編「司馬サンの大坂弁」（文藝春秋）に収録）。

また、西村京太郎は山村と自身との関係をモデルに私小説「女流作家」「華の棺」を

発表しており、「山村美紗さんに本書を捧げる」と帯に記載された。生前は山村の意向を汲んで友人関係と口裏を合わせていたが、没後はより踏み込んだ関係であった事に言及し話題を呼んだ。

目录:

[京都マネーゲーム殺人事件 下载链接1](#)

标签

山村美紗

评论

山村著作No.66：美紗教你入市投资，从最基本的手续费、股利支付到比较复杂的补仓、庄家操作，基本盘分析：包括日元贬值、纽约股价波动、政策拉动内需等等都有涉及，看完本书确实能对股票市场有一个大概的了解。故事伊始，因NTT股票大获成功的OL三人组下定决心投身股票市场，随后连续遭遇三起扑朔迷离的谋杀案。以证券市场为背景的推理小说并不稀奇，多半都是高层贪腐之类的情节，距离普通读者有相当距离。但是美紗却将着眼点集中在散户如何学会投资的身上，丝毫没有社会派那些大段的说教剖析，相反全文充斥着很多实用的投资建议，各家公司股票悉数实名登场。推理本身也维持着一定水准，死亡时间的伪装诡计一次次将故事推向新的高潮。但是，作者似乎遗忘了两个细节没有处理：1.胃内容物的矛盾；2.幽灵电话的始作俑者是谁？

[京都マネーゲーム殺人事件 下载链接1](#)

书评

[京都マネーゲーム殺人事件 下载链接1](#)